

江南市まちづくり会議（全体会議） 議事要旨

会 議 名	平成 26 年度 第 1 回江南市まちづくり会議（全体会議）				
日 時	平成 26 年 12 月 24 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 10 分				
場 所	防災センター2階 防災セミナー室				
出席者	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #d9ead3; width: 100px;">市民委員</td> <td>宮川 秀男(第 1 分科会分科会長)、岩井 喜美子(第 1 分科会副分科会長)、松尾 昌之(第 2 分科会分科会長)、社本 亘(第 2 分科会副分科会長)、加藤 幸治(第 3 分科会分科会長)、柴田 広美(第 3 分科会副分科会長)、柴田 熙(第 4 分科会分科会長)、奥村 忠(第 5 分科会分科会長)、飯島 和代(第 5 分科会副分科会長)、中田 實(学識経験者)、武長 脩行(学識経験者)</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d9ead3;">市職員</td> <td>山田 順一(第 1 分科会)、川田 保(第 2 分科会)、吉野 賢司(第 3 分科会)、武馬 健之(第 4 分科会)、坪内 俊宣(第 5 分科会)</td> </tr> </table>	市民委員	宮川 秀男(第 1 分科会分科会長)、岩井 喜美子(第 1 分科会副分科会長)、松尾 昌之(第 2 分科会分科会長)、社本 亘(第 2 分科会副分科会長)、加藤 幸治(第 3 分科会分科会長)、柴田 広美(第 3 分科会副分科会長)、柴田 熙(第 4 分科会分科会長)、奥村 忠(第 5 分科会分科会長)、飯島 和代(第 5 分科会副分科会長)、中田 實(学識経験者)、武長 脩行(学識経験者)	市職員	山田 順一(第 1 分科会)、川田 保(第 2 分科会)、吉野 賢司(第 3 分科会)、武馬 健之(第 4 分科会)、坪内 俊宣(第 5 分科会)
市民委員	宮川 秀男(第 1 分科会分科会長)、岩井 喜美子(第 1 分科会副分科会長)、松尾 昌之(第 2 分科会分科会長)、社本 亘(第 2 分科会副分科会長)、加藤 幸治(第 3 分科会分科会長)、柴田 広美(第 3 分科会副分科会長)、柴田 熙(第 4 分科会分科会長)、奥村 忠(第 5 分科会分科会長)、飯島 和代(第 5 分科会副分科会長)、中田 實(学識経験者)、武長 脩行(学識経験者)				
市職員	山田 順一(第 1 分科会)、川田 保(第 2 分科会)、吉野 賢司(第 3 分科会)、武馬 健之(第 4 分科会)、坪内 俊宣(第 5 分科会)				
傍 聴 者	なし				
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 戦略計画達成状況報告書について 2. その他 				
資 料	1. 江南市戦略計画達成状況報告書（案）				

◆ 会 議 結 果 ◆

1. 戦略計画達成状況報告書について

- ・中期計画期間の全体の目標達成状況について事務局より説明がありました。また、各分科会長より、分野別会議での議論の内容について報告がありました。

【意見交換の内容】

- ・江南市で生活保護を受けている人はどれくらいいるのか、また、生活保護を不正に受給した事例はあるかとの質問がありました。これに対して、平成 26 年 3 月 31 日現在、429 世帯、557 人が生活保護を受けており、不正受給の問題については、社会福祉事務所の生活保護のケースワーカーが家庭訪問を行い、預金等の資産をチェックするとともに、就労能力の有無などいろいろな角度から生活保護に該当するかを判断しているため、現時点ではないとの説明がありました。
- ・民生委員・児童委員は一人当たり何世帯を受け持っているかとの質問があり、これに対して、一人当たり約 300 世帯を担当しており、独居老人の問題や児童虐待の発見など、その活動範囲はかなり広いとの説明がありました。

- ・名鉄犬山線の線路東側地区と布袋地区には、いこまいCARなどの公共交通の恩恵がいつてないような気がするがどうかとの質問がありました。これに対して、第1分科会（生活環境、産業分野）の分野別会議の中では、線路東の市民の方は名鉄バスもなく困っている方がいることは承知しているが、バス路線を増設するには非常に大きなコストがかかるので、名鉄バスへの補助を含めた費用対効果という観点から、線路の東側の方については、現在のいこまいCARを利用していただきたいとの議論があったとの説明がありました。また、曾本町などの方は、直接いこまいCARで江南厚生病院まで行くよりも、布袋駅までいこまいCARを利用し、布袋駅から名鉄バスで行ったほうが料金が安くなるため、今後、広報で料金比較の啓発が予定されているとの説明がありました。
- ・11 ページから 15 ページにかけて、各分野の目標達成状況が掲載されており、全般的に平成 20 年度から 22 年度までと、平成 23 年度から 25 年度までの 3 年間で比較すると平均目標達成率が下がっており、例えば、生活環境、産業分野では、柱 4 産業振興・雇用就労が 102.6%から 83.0%に下がっているとの指摘があり、これに対して、前期（平成 20 年度～22 年度）から中期（平成 23 年度～25 年度）にかけて、目標値の上方修正をしているため、達成率が低くなっている傾向があるとの説明がありました。なお、後期（平成 26 年度～29 年度）にかけては、あまりにも現実と乖離した目標値については下方修正したものもあるが、それでも簡単に達成できるというわけではなく、できる限り高い目標値を掲げているとの説明がありました。
- ・いこまいCARの問題を例にとると、高齢者の数が増えると当然利用者も増え、現状どおりの予算では足りなくなるという自然増の問題について、予算には限りがあるので受益者に負担してもらいながらやっていくのかとの質問がありました。これに対して、特にいこまいCARなど複数の部署との連携が必要な場合は、検討委員会等を立ち上げて対応しているとの説明がありました。
- ・戦略計画の評価の仕方について、個別的なテーマを細分化し、具体的に数値化するのは一つの方法であるが、その結果、全体としてどこに向いているのか、全体として深刻な問題というのはどこにあるのかが見えにくいとの意見がありました。特に大きな問題として、現行の戦略計画では人口の目標設定は変えない方針であるが、国立社会保障・人口問題研究所の推計では江南市の人口は 2040 年に約 8 万 4,000 人になるとの推計が出されており、次の計画ではそれぞれの分野で、人口減少に向かう新しい段階にきているということに焦点を当てた具体的な政策や指標について、議論していかなければいけないとの意見がありました。
- ・行政の関わり合いが強い経営、企画分野は目標達成率が高い傾向にあるが、地域協働の推進については目標達成率が 66.3%に留まっており、市民と関わりのあるところの目標達成率が低いのは、まさに人口減少の表れではないかとの意見がありました。今後この傾向がいつそう進んでいくと、地域協働を市民にどこまで期待できるのか、基本的な展望の中で指標を立てていかないか何をめざしているのか見えづらくなってしまおうとの意見がありました。
- ・これに対して、人口減少の影響は中期計画期間の成果に対する次の課題として認識しているが、保育園に関していうと、現時点においても子どもの数は減少傾向にあるものの、3 歳未満児の保育ニーズは非常に高く、保育所費は減っていない現実があり、こうした人口に比例しないような事例も含めて、戦略計画が終了する平成 29 年度の次の 10 年間でどのように舵取りしていくか市民の意見もいただきながら今後対応していきたいとの説明がありました。

- ・地域のリーダーの高齢化が進む中、次の世代へバトンを渡すことが難しくなっており、若い人たちにどこまで担ってもらえるかが課題であるとの意見がありました。これに対して、高齢化社会は高齢者が中心となって頑張る時代でもあり、引き継ぎの問題は別として、元気な高齢者にはもっと力を発揮してもらうことも必要であるとの意見がありました。
- ・地元で子どもを巻き込んだ地域の行事を行うと若いお父さんも親子で多く参加してもらえることが多く、そうした行事を通して地域を再構築していくことの可能性も感じているとの意見がありました。
- ・東京や名古屋など、社会的な要因により人口が増えている都市もあり、江南市も人口が減らないような中長期的な対策として、若い人にとって住みやすい町になるような新しい手を打つことが必要ではないかとの意見がありました。
- ・高齢になっても現役を続けることは素晴らしいことであるが、若い人にも議論の輪に入ってもらって、高齢者は知恵を出し、若い人はエネルギーを出せるようなまちづくりが必要ではないかとの意見がありました。
- ・若い人たちも組織の中に位置づけて力を発揮してもらうとともに、女性の力も結集すれば、地域協働を推進していくうえでのさらなる可能性は十分に残っているとの意見がありました。

2. その他

- ・戦略計画達成状況報告書は、今後、広報こうなん3月号及びホームページ上で公表していくとの説明がありました。
- ・次期総合計画の策定の関係上、来年度のまちづくり会議は休止し、平成28年度から新しいまちづくり会議の委員のもとで再開していく予定であるとの説明がありました。